

## 令和5年度第2回吾妻地域保健医療対策協議会地域医療構想部会 議事概要

○日 時：令和6年3月7日（木）17：30～18：30

○場 所：吾妻保健福祉事務所 大会議室

○出席者：吾妻地域保健医療対策協議会地域医療構想部会委員19名中14名出席  
事務局9名

### 1 開 会

### 2 あいさつ

### 3 議 題

#### (1) 外来機能の明確化・連携について

○資料1に基づき事務局（吾妻保健福祉事務所）から説明

#### (2) 地域医療構想について

○資料2に基づき事務局（吾妻保健福祉事務所）から説明

○資料3-1～3-3に基づき西吾妻福祉病院（委員（病院管理者）及び事務局長）から説明

○資料4に基づき中之条病院（委員（病院長））から説明

○意見、質疑等の概要は次のとおり

（委員）

西吾妻福祉病院は、今の役割・機能を維持するということで大変安心したところだが、原町赤十字病院も医師や看護師の確保が難しい状況である。職員確保について、具体的な対応等があれば参考にしたいのでご教示願いたい。

（委員）

医師に関しては、地域医療振興協会の総合内科専門医のプログラムの中で連携しており、系列の医療機関から3名ないしは2名の医師が3か月交代で年間を通して派遣されている。また、自治医科大学の卒業生も、へき地勤務を義務として3年間派遣されている。若手の医師がいないと救急医療の継続は難しく、経験が不足しているところも多少あるが、モチベーションが高いため継続できている。

（西吾妻福祉病院組合事務局長）

看護師については、病院のホームページ等で人材会社を通して採用している。

また、地域医療振興協会本部が運営するさいたま看護専門学校に進学する際に授業料を免除できる奨学金制度があり、委託して取り組んでいただいている。毎年度4名募集しているが、4年制の大学等の台頭により確保が難しい中、毎年平均で2名ほど奨学生を受け入れており、卒業後当院で従事する職員確保の一翼を担っていると考えられる。

(委員)

原町赤十字病院も元々は一般病床数 227 床であったが、新型コロナウイルス感染症の影響で一般病床を減らした。病床を復活させようと考えたが、看護師が不足しており、働き方改革等もあって、無理をすると看護師の離職に繋がるため、現状のままとした。看護師数が増えれば病床数を増やせたかもしれないが、患者数の減少も病床数減少の理由の 1 つである。

また、療養病床については 19 床あるが、当院が維持する必要性等を地域全体で議論しながら検討していきたいと考えている。

西吾妻福祉病院の 365 日 24 時間対応というのは、他の病院でも相当大変なので、医師や看護師にかなりの負担がかかっていると思う。その点についても、西吾妻福祉病院と連携しながら、役割・機能の分担を進めてまいりたいと考えている。

4 その他  
特になし

5 閉 会